

SDGs 未来都市等進捗評価シート

石川県珠洲市

2019年8月

SDGs 未来都市計画名

珠洲市SDGs 未来都市計画

1. 全体計画

計画タイトル	石川県 珠洲市 SDGs 未来都市計画		
2030年のあるべき姿	里山里海などの豊かな自然資源、人的資本、そしてこれらをつなぐ、おすそ分け文化、祭り、ヨバシなどの社会（文化）資本が豊かな「インクルーシブ・ウェルス（包括的な富）」日本一の地域を目指す。		
2030年の あるべき姿の 実現に向けた 優先的なゴール	経済	社会	環境
	ゴール8 ターゲット8.3, 8.9 ゴール12 ターゲット12.b, 12.8  	ゴール4 ターゲット4.7 ゴール11 ターゲット11.4  	ゴール6 ターゲット6.6, 6.b ゴール14 ターゲット14.2 ゴール15 ターゲット15.1, 15.5, 15.c   

優先的なゴール、 ターゲットに関する KPI	No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値		2030年		進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）	
	1	市内における新規創業・開業数【8.3,8.9】	2014年3月	20	店舗	2019年		10
2	交流人口数【12.b,12.8】	2014年3月	825	千人	2019年	1,300	千人	現在の進捗状況は、1,062千人（2018.1～2018.12までの入込み数）となっており、近年横ばいで推移している。引き続き、本市の魅力発信し続けると共に、交流人口数の拡大に向けた関連施策を展開する。
3	人材育成プログラムの修了生【4.7】	2018年3月	165	名	2019年	188	名	現在の進捗状況は、183名（2018年度末累計）となっている。今年度からはSDGsの学びも人材育成プログラムに取り入れ、学びと社会実践を通じた「SDGs 能登モデル」を共創する地域再生人材の育成を目指す。
4	地域資源活用型ビジネスの育成数【11.4】	2014年3月	1	件	2019年	3	件	現在の進捗状況は、創業等支援相談窓口の設置や経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、更には能登里山里海創業塾の開催など3件の創業支援施策を実施している。
5	環境教育に関する講座などの開催回数【6.6,6.b,14.2,15.1,15.5,15.c】	2014年3月	1	回	2019年	2	回	現在の進捗状況は、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会活動報告会の1件のみとなっている。今後は、全市民を対象とした環境教育を推進するため、NPOなど多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<p>■各種計画への反映状況や課題 未来都市計画で設定しているKPI等は、現行の本市の総合指針・総合戦略に記載されているKPI等を引用している。現在、総合指針・総合戦略の改訂中であり、改訂する際にはSDGs未来都市計画と整合性を図ることとしている（2019年度改訂）。</p> <p>■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ 市長、副市長、教育長及び市役所内全課室長で構成する3役課長会議を「SDGs推進本部」と位置付け、本部長は珠洲市長、事務局は企画財政課長が担う。毎月1回の会議を開催し、会議の席上進捗状況等を報告し、重要案件（予算執行、プロジェクト提案）などについては、本部長の裁量で順次審議・決定する。</p>	<p>■市内 行政が発行する広報誌を通じて、SDGsの情報発信を行うとともに、市民への普及啓発を実施した。関連団体等とSDGs普及事業を開催するため、SDGsカードゲームを活用したワークショップなども定期的に開催している。また、市内に存在する県立高校や市内中学校の生徒を対象としたSDGs学習（SDGsカードゲームの活用）も開催しており、市民の関心度も向上している。</p> <p>■市外 これまで金沢大学と連携し、実施してきた人材育成プログラムにおいてもSDGsの要素を盛り込み、「能登里山里海SDGsマイスタープログラム」として、SDGsの学びと社会実践を通じた地域再生人材の育成を図っている。</p>	<p>・幅広い教育機会や情報発信の機会の形成、産官学連携の仕組みづくりは高く評価できる。</p> <p>・新規創業、交流人口、地域資源活用型ビジネスに関する指標は着実に伸びていると見られる。</p> <p>・これらは、能登SDGsラボ、能登里山里海SDGsマイスタープログラムが重要な取組であると考えられるが、これらの活動は上記の指標とどのように関連しているのか考察いただきたい。</p> <p>・インクルーシブ・ウェルスを目指す以上、それを測るための指標の開発も必要である。現在は既存指標で進捗の計測を行っているが、今後正しく進捗を測る指標や方法の開発もSDGにとって重要となることから、これについても期待する。</p> <p>・能登SDGsラボを活用した地域資源活用型ビジネスについては、住民、地域企業体と連携する展開を期待する。</p>
ステークホルダーとの連携	地方創生・地域活性化への貢献	
<p>■域内の連携 これまで連携してきた金沢大学をはじめ、国連大学や県内他大学、商工会議所や市内で創業塾を開催している地元金融機関など幅広い知識とノウハウを有したステークホルダーと連携し、地域課題を解決するためのワンストップ窓口として、地域課題解決のコーディネーション機能と“知”と“共創”のプラットフォーム機能を備えた「能登SDGsラボ」を開設した。「能登SDGsラボ」は、連携するステークホルダーと共同で運営し、起業・創業の促進など地域内経済の活性化に努めている。</p> <p>■自治体間の連携（国内） SDGs未来都市に選定されている自治体及びこれからSDGsの取組を実践しようとしている自治体間で情報共有や意見交換を実施し、SDGsの普及展開に取り組むことが出来た。</p>	<p>■能登SDGsラボの設立・運営 本市には世界農業遺産に認定されている豊かな里山里海（環境面）と、これまで10年以上にわたり実施してきた人材育成事業で育成された多様なマイスター人材が多く存在（社会面）している。しかし、SDGs事業を推進する上で最も重要な課題の一つとされている地域経済の活性化に結び付けることが出来ていなかった。</p> <p>SDGs未来都市として、今後の過疎地域である本市の未来を描く際、これまでに生み出されてきた様々な新たな「可能性」を有機的かつ持続的、発展的に機能させる「仕組み」が不可欠となっている状況であることを踏まえ、経済、社会、環境の三側面に対して自立的好循環を生み出し、地域課題を解決するためのワンストップ窓口機能を備えた「能登SDGsラボ」を設置した。現在、「能登SDGsラボ」が中心となり、地域経済の活性化を図るための取組（市内企業に対するアンケート調査、個別ヒアリングなど）を実施している。</p>	

1. 全体計画

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)	
①課題解決型の人材養成事業の発展	4.7	人材育成プログラムの修了生	2017年度 165 名	183 名	2020年 188 名	78%	KPIの達成に関しては、順調に推移している。今年度からは単なる人材育成ではなく、SDGsの学びもプログラム化し、学びと社会実践を通じた「SDGs 能登モデル」を共創する地域再生人材の育成を目指す。	
	6.6	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	1 回	2020年 2 回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。	
	8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20 店舗	24 店舗	2020年 10 店舗	147%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの4年間で24店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。	
	11.4	地域資源活用型ビジネスの育成数	2013年度 1 件	3 件	2020年 3 件	100%	市内経済の活性化を図るため、創業支援施策数をKPIに設定している。現在は、創業等支援相談窓口の設置、経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、能登里山里海創業塾の開催など3施策を実施しており、順調に推移している。	
	12.8	交流人口数	2013年度 825 千人	1,062 千人	2020年 1,300 千人	50%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっている。域学連携を推進し、大学生の入込を増やすとともに、奥能登国際芸術祭を活用したインバウンドの受け入れも視野に入れた関連施策を展開する。	
自治体SDGsの推進に資する取組の2020年のKPI	②地域循環共生圏 (持続的な地域保全活動)の構築	6. b	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	1 回	2020年 2 回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
		8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20 店舗	24 店舗	2020年 10 店舗	147%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの4年間で24店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825 千人	1,062 千人	2020年 1,300 千人	50%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっている。域学連携を推進し、大学生の入込を増やすとともに、奥能登国際芸術祭を活用したインバウンドの受け入れも視野に入れた関連施策を展開する。
		15. c	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	1 回	2020年 2 回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
③能登SDGsラボの設立運営	4.7	人材育成プログラムの修了生	2017年度 165 名	183 名	2020年 188 名	78%	KPIの達成に関しては、順調に推移している。今年度からは単なる人材育成ではなく、SDGsの学びもプログラム化し、学びと社会実践を通じた「SDGs 能登モデル」を共創する地域再生人材の育成を目指す。	
	6.6	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	1 回	2020年 2 回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。	

1. 全体計画

	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
自治体SDGsの推進に資する取組の2020年のKPI	③能登SDGsラボの設立運営	8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20 店舗	24 店舗	2020年 10 店舗	 147%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの4年間で24店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。 ※達成率= (2005～2018年の累積開業店舗の実績÷2005～2019年の累積開業店舗の目標値)
		11.4	地域資源活用型ビジネスの育成数	2013年度 1 件	3 件	2020年 3 件	 100%	市内経済の活性化を図るため、創業支援施策数をKPIに設定している。現在は、創業等支援相談窓口の設置、経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、能登里山里海創業塾の開催など3施策を実施しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825 千人	1,062 千人	2020年 1,300 千人	 50%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっている。域学連携を推進し、大学生の入込を増やすとともに、奥能登国際芸術祭を活用したインバウンドの受け入れも視野に入れた関連施策を展開する。
		15.1 15.5	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	1 回	2020年 2 回	 50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
	④域学連携の推進	6.6	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	1 回	2020年 2 回	 50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
		8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20 店舗	24 店舗	2020年 10 店舗	 147%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの4年間で24店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825 千人	1,062 千人	2020年 1,300 千人	 50%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっている。域学連携を推進し、大学生の入込を増やすとともに、奥能登国際芸術祭を活用したインバウンドの受け入れも視野に入れた関連施策を展開する。
	⑤先端アートプロジェクトによる地域の魅力発信及びインバウンド促進	8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20 店舗	24 店舗	2020年 10 店舗	 147%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの4年間で24店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825 千人	1,062 千人	2020年 1,300 千人	 50%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっている。域学連携を推進し、大学生の入込を増やすとともに、奥能登国際芸術祭を活用したインバウンドの受け入れも視野に入れた関連施策を展開する。